

第17回服部商店勉強会と新しいサイトの説明

2月17日・土曜日に勉強会『ウイソコンシン産・ハードメープル原木の製材』を開催しました。第1回を平成19年2月3日に開催したので、今回で11年目になります。11年の間で学んだ事も多数あります。個人的な事『小生は大勢の前でお話をするのは苦手ですが、少しは改善したと思います。』

我々材木屋が行動しなくてはならない事『我々木材業界は消費者の皆様に対する奉仕とは何か。何が求められているか。』等、幅広い情報に接して頂けたのは参加して頂く方達のお陰だと思います。

勉強会で感じた事は、極一部の方は、木に対して凄く熱心です。我々より専門分野では、遥かに豊富な経験と知識をお持ちです。小生も舌を巻く事もしばしばあります。

しかし一般ユーザーさんの情報源は何処なのか。住宅展示場・家具の小売店・ホームセンターかなと想像するしかありません。それともネットの情報なのか。その情報は本当に正しいのか。それが住宅の購入・家具の購入・小物商品の購入に正しく結びついているのか。疑問は決して無くなりません。

現状を見たとき、木の正確な情報が正しく消費者の皆様には伝えられていたら、お正月に宿泊したホテル（一人一泊4万円の料金）の内装が全てシート張りの建材で作られているのでしょうか。日本人は2000年昔から木の文化を育んできました。お寺・神社には木材は豊富に使われています。しかし現在の住まい作りには構造材を除けば使用される木材は凄く減っていると思います。

そういう逆風中にあって小生は木の本当のお話をしたからと言って、世の中が劇的変化するとは思っていませんが、少しは変わって頂きたいと思っています。

住いは買うものでなく建てる物ですが、そんな事を真剣に考える方が多くないから、木材が売れないのです。しかし小生は諦めません、1年間に何人の木のファンが増えるか解りませんが、この企画を辞めてしまったら、木の良さを伝えられなくなると思います。継続して来年以降も行いたいと思います。

ハードメープル材の本当の話『産地情報・価格情報』は今回書きません。理由は技術的な事をお話しするより、もっと大切な事がある事を発見したからです。それは木の正しい情報も必要ですが、もっと服部商店と服部雅章を勉強会以外の方法で知って頂く事では無いかと気が付いた事です。

現在ネットには、服部商店とバグズオーダーのサイトをアップしています。二つのサイトで十分情報を提供できていると思っていましたが、今回の勉強会で残念ながら伝えきっていないのだと感じました。情報が正しくともそれがおもしろくなかったら興味を持たないのだと感じました。もっとおもしろい情報を発信する為のサイト『服部マガジン』<https://www.hattorimagazine.jp/>を作りました。今月号が手元に着くころには大よそサイトは完成していると思います。なおこのサイトのご説明は来月号にて詳しくご説明させていただきます。



第4 1 2 回旭川銘木市

2018年1月26日に開催された銘木市には選りすぐりの広葉樹優良材原木が出品されていました。特に1月の市は素晴らしい原木が1年に一度出品されるので、日本全国の材木業者が参加していました。この素晴らしい原木の出品者は東京大学（東京大学演習林材）です。

東京大学演習林材は公売に出品されたロット材を北海道の業者が購入して銘木市に出品されるルートと直接大学から銘木市に出品されるルートがあります。特に上級材は直接出品されます。

今回の目玉はマカバ材でした。マカバ材は次ぎの天皇にご即位される現在の皇太子様のご結婚された当時、日本国内の高級内装用に多数の物件で使われました。高級ホテルから宮内庁まで高級物件＝マカバ材と言うイメージで一斉を風靡しました。当事は東京大学演習林材以外にも北海道の森林から良質材が多く出品されていました。しかし現在は東京大学演習林以外の産地にはもはや優良材は有りません。

木材の関係者は今回の出品材以外の入手ルートが無いのです。今回買いつけが出来ないと、今年から来年度にかけて使われると噂されるマカバ材使用の物件には対応出来ない事になります。下記は今回出品された超優良マカバ材の一部の写真です。ところで小生はユーザー様にお届けしたい他の材を優先する為、マカバ原木は今回断念しました。



東京大学演習林材はマカバ以外にセン原木とイチイ原木に良質材が出品されていました。小生はイチイ原木とセン原木3本の買付けに成功しました。写真は落札したイチイとセン原木です。

東京大学演習林材で優良品質のイチイ原木が出品されたのは、小生の記憶では20数年有りません。しかしイチイの特選原木が残っている北海道で、唯一の森林の恵みである事も事実です。これから先々これ以上の品質のイチイ原木が旭川の銘木市に出品されることは二度とないと思います。なおこの材は高山の御客様にお届けした後、結納の高砂人形に彫刻されたのち世の中に御披露目されます。



セン原木は長野県の服部商店の大事な御客様に御買い上げ頂きました。小物製作用に使用出来るヌカ目の色の白い材質の原木です。用途は守秘義務があるので明かせませんが、高品質の材が必要な用途です。

次のページの写真は東京大学から頂いた写真です。

購入した東京大学演習林材の立木の写真は以下です。



5411 セン原木



5394 セン原木



5142 イチイ原木



5403 セン原木

ところで広葉樹を使って頂ける市場は、資材の高騰・人手不足等の要因で、シート張りが主流になっているので、価格は横ばいか少し下がるのが一般的な資材の傾向ですが、北海道には優良な広葉樹原料は枯渇しています。我々業者は取るか取られるかの選択です。

現在超人気商品はサクラ材です。なぜかサクラ材の価格は倍以上になっています。30センチ以下の小径原木・形の悪い原木も倍の価格になっています。もはや優良材のサクラ材を入手するのは神業だと思います。

栗原木工所ツアー

服部商店の仲間達で立ち上げた『バグズオーダー・木作りの会』の第一回目の催しを開催しました。先月号でも取り上げましたが、この参加メンバーは、建築士5人、工務店2人、木工所1人、工房1人、木工教室1人、材木屋1人、デザイナー1人の合計12人です。

住まい作りから店舗、家具作り等の関係者が募った集まりですが、この12人の中心的なメンバーは、木工所です。

確かにこの組織は、世の中の全てのニーズに対応出来る方達を集め、お互いがウイン・ウインの関係になって商いが出来る組み合わせの塊ですが、現在の諸問題(資材の高騰・超人手不足)を解決し物事を進めて行こうと行動し始めると、バグズオーダーの中心的な仲間は木工所になりました。この事は当然だと信じています。

ご紹介するのは大阪府門真市に有る栗原木工(株)さんです。この会社の凄さをバグズオーダーの他のメンバーに感じて頂きたいと考え第一回のバグズオーダーのツアーを1月17日に開催しました。

栗原木工の実力は、以前から小生は承知していましたが、今回それを改めて凄いなと感じました。栗原木工の実力は、大手家具メーカーを含む日本中の木工所でも設備は指折りです。又技術者の優秀性も申し分有りません。しかしそれ以上の何かを感じたのは私だけでしょうか。

立派な工場設備から生産される木製品の優秀さはメンバー達も驚いたと思います。現在国内の市場から最も要求されている3つの要素『高品質・短納期・手ごろな価格』に対応出来るのです。そして何処を見ても日本中の木工所に負けない実力を感じて頂けたと思います。しかし本当の実力はそれだけでは有りません、小生が最も敬意を払わないといけないのは常務の紳士的な振る舞い。そして会社全体が醸し出す謙虚な立ち振る舞い、これって極当たり前の様に思えるかも知れませんが、超大手を含む木工所でも決して多く有りません。以前高山の超大手のK木工に見学しに行きましたが、小生の木材のプロ感覚から見ても、勝るとも劣らない雰囲気です。当然エンドユーザー様がどこを見ても隙のない工場しか見えない様に感じました。

* 追伸 建築士さんがお連れしたお施主様のご夫妻と1歳以下のお子様もご参加頂きました。

